

会員等の現状と活動報告

J O F C in 山形'14の開催に当たって、山響ファンクラブが「会員数と動向」「運営について」「実施事業」「会員特典」「楽団支援事業」などについて自身を含めて実施したアンケートを札幌くらぶ、仙台フィルハーモニークラブ、群響ファンズ、名フィル・ファンクラブ、石川県立音楽堂楽友会、広響ファレンズとオブザーバーとして都響倶楽部から取りまとめた内容を集計、分析した結果を総括した活動報告いたします。

1. 会員数と動向

所属会員数は、100名前後から400名越えまでとなっているますが、100名前後4クラブ、それ以上が3クラブとなっており、会員数の増減ではプラスマイナス「0」が3クラブ、プラスが3クラブ、マイナスが2クラブとなっていて、全体としては微増の状態です。

増減の要因となっているのは、入退会が落ち着いてはいるものの高齢化による退会クラブも多くなってきています。

活動会員比率は、5～100%まで各クラブでばらばらとなっていますが、会員数が多くなるにつれて活動会員の比率が低くなってきているようです。

世代構成・地域については、40代から70代と幅広い構成ですが、中には40代、現役世代が多いクラブもあり、会員の地域は概ねクラブ所在都市かその周辺が大部分を占めているようです。

2. 運営について

スタッフ数は、一桁が3クラブ、二桁が5クラブで、運営会議などの開催は月1回以上開催されているクラブが大半ですが、スタッフに現役世代が多いクラブは時間やスケジュール調整に苦労されているようです。

予算規模は、20万円から40万円のクラブがほとんどでほぼ会費で運営しています。情報公開は、会報によるクラブが多く、次いでホームページでも行っているようです。スポンサーシップがあるのは、2クラブのみです。

3. 実施事業

項目	札	仙	山	群	金	名	広	都
交流会・パーティー等	2	2	4	3	1	2~3	2	3
茶話会・懇談会等	検討中	10	検討中		3	検討中	10	検討中
セミナー・演奏会等	4	1	検討中		4	2~3		4
練習・ゲネプロ見学会	2		11		10	検討中		
演奏会鑑賞旅行等	1	海外	東京	1	7	有		検討中
会報発行（回数）	4	3	2	4	12	2~3		4
〃（刷色）	モノクロ	カラー	モノクロ	モノクロ	カラー	モノクロ		カラー
〃（部数）	800	500	300	350	100	200		250
楽団グッズ等販売		注1	検討中					
その他		注2	注3	注4	注5	注6	注7	

注1＝楽員のコンサートチケット

注2＝J O F Cからの見舞金を加算してチケットをプレゼント

注3＝他楽団との合同演奏会、県外公演のシーティングを4回作成

注4＝群響合唱団年度ごとのTシャツ作成

注5＝金沢の演奏家のロビーコンサート

注6＝事務局との定期演奏会に関する曲目選定に関する意見交換、交流

注7＝楽団50周年、指揮者50周年で全員に花束贈呈

この表によると、交流会・パーティー等は、全てのクラブが実施しており、クラブ運営の必須アイテムとなっているが、意外と少なかったのが練習・ゲネプロ見学会である。表では3クラブが実施中で1クラブが検討中である。

会報は、ほぼ全てのクラブが年2～4発行しており、毎月1回発行しているクラブも1クラブある。また、印刷もモノクロが4クラブ、カラーが3クラブもある。

楽団グッズ等販売は、検討中が1クラブだけで、現状では実施しているクラブはない。在庫保有などこの事業の難しさを示している。

その他では、注2から注7までのように各クラブの工夫が見て取れる。

4. 会員特典

楽団チケット割引は、5クラブが特典として楽団から受け、会員サービスを行っている。CD／グッズ等提供を行っているクラブはなく、CD購入も1クラブのみ販売店と提携している。

また、飲食店と提携して割引を受けている1クラブがある。

5. 楽団支援事業

寄贈（寄付）は、4クラブが楽譜支援、維持会員、賛助会員などの方法で寄付を行っているほか、チケットプレゼントやファンズシートを設けて招待、また、協賛金を受けて中学生を定期演奏会毎に送迎バス付で招待しているクラブも一つある。

ボランティアは、4クラブがチラシ折り込みやチラシ配布、会場整理、ワークショップ、もぎりなどの業務を行っている。

演奏会発行物としては、2クラブが独自の印刷物を楽団の協力を得て実施しているし、クラブのHPで楽員の演奏会を紹介しているクラブもある。

6. 共通の質問

Q1：環境、楽団、地域の現状、Q2：1年間最も進歩した点や力を入れた活動、Q3：現在困っていること、Q4：JOF Cに期待すること及び自由記入では、楽団の状況、地域の独自の事情、クラブの事情などから多種多様な喜びや悩みが報告され、とてもこの2ページの紙面ではまとめきれないのが現実です。

については、各クラブの活動報告をお読みいただき、それぞれの喜びや悩みをお汲み取りくだされば幸いです。